

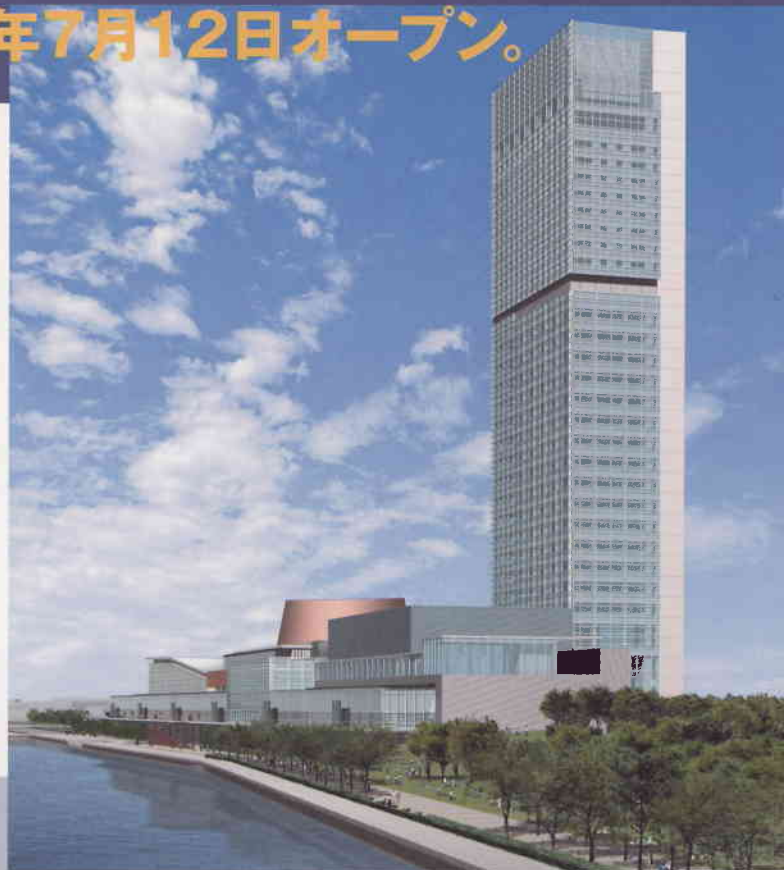
## 新潟県立万代島美術館、来年7月12日オープン。

新潟市の中心地、日本海をのぞむ信濃川河口に浮かぶ万代島地区に、2003年7月12日、「新潟県立万代島美術館」がオープンします。

万代島地区には、コンベンションセンターを中心とする複合施設「朱鷺メッセ」と、日本海側最高の、地上140メートル31階の万代島ビルディングが建設されており、美術館はビルの5階のフロアになります。

新潟県は、県民のみなさんが芸術文化にふれあう機会をさらに充実させるため、新しい美術館の開設準備をすすめてきており、オープンする万代島美術館は、長岡市にある近代美術館に続き、県立の美術館としては2館目になります。

開館まであと半年。万代島美術館は、近代美術館と連携をはかりながら、環日本海のゲートウェイ新潟の新しいシンボルとして、芸術文化の発信地として、これから大きな役割を果たしていくこととなります。



## 新潟から世界へ

1993年、長岡市に近代美術館が設置され、多くの県民に芸術文化に親しむ機会が提供されてきました。収蔵品も2500点をこえ、積極的に展示する機会と場所が求められてきています。

このたび、新潟市万代島にオープンする県立万代島美術館は、収蔵品の中から、1945年以降の作品を中心に紹介していきます。県都の芸術文化の発信地となり、国際的な文化交流の拠点として、県民のみなさまに親しんでいただける、やすらぎと活力を与える美術館をめざしています。

万代島美術館は、「現代の美術」の作品を収集するとともに、魅力ある企画展を行っていきます。また、いろいろな時代の作家の作品を扱う一方で、これからさまざまな方向へと展開を遂げつつある、近隣のアジア諸国の美術も紹介します。

万代島美術館は、「現代の美術」における新しい価値を積極的に発掘し、チャレンジする美術館をめざしており、ますます多様化していく美術を新しい視点でとらえていきたいと考えています。

## たくさんの方々から新美術館の名称を考えていただきました。



美術館の名称を全国から募集した結果、6才から95才まで2,809件もの応募がありました。

中には「イマドキ美術館」、「新潟アルビ美術館」など大変ユニークな名称案もありましたが、選考委員会により、「万代島美術館」、「朱鷺メッセ美術館」、「新潟アート館」、「万代島アートホール」の4点が選ばれ、新美術館にふさわ

しく、わかりやすいことから「新潟県立万代島美術館」に決定しました。

表彰式は、9月12日に知事室で行われ、最優秀賞の松木めぐみさん、佳作の高橋初美さんに平山知事から表彰状と賞金が授与されました。二人とも緊張した表情で、「とてもうれしい」、「大変驚いた」と感想を述べていました。

決定名称 **新潟県立万代島美術館**  
The Niigata Bandaijima Art Museum

# 万代島美術館の施設について

「朱鷺メッセ」の中にある万代島ビルディングの5階フロアが美術館です。

周辺環境との調和を考えながら、親しみの持てる空間になるよう、設計に工夫がされています。

## 万代島美術館の設計にあたって

信濃川の河口に位置する万代島は、かつては砂地の中洲であったものが、いつしか川岸と一体化して岬状の地形になったものと聞き及びます。信濃川の河口に拓けた港まち新潟にとって、佐渡とを結ぶフェリーターミナルや港湾ドック、漁協の水揚げ施設などが散在するこの島は、いわば新潟の街の成り立ちを示す場所のひとつとも言えるでしょう。

当美術館の計画は、この万代島全体を日本海側における国際交流拠点としてのコンベンション・センター(愛称:朱鷺メッセ)に整備する再開発事業の一環として、国際的な芸術・文化の交流の場となることを目指すと共に、県民に広く美術鑑賞の機会を提供する施設を創ろうとするものです。

設計にあたっては、国際級の展覧会や海外の美術館・作家との交流をふまえた先進の展示環境を構築し、国際交流拠点をうたう朱鷺メッセにふさわしい美術館となるよう留意しました。特に光学設計を駆使した展示照明は、来館者がリラックスした心持ちで作品鑑賞に集中できる、快適な展示空間を演出してくれることでしょう。

また、スムーズに鑑賞できるシンプルな動線計画や、館内全域に敷きつめる北米産の広幅フローリング(ダグラスファー)など、小さいながらも居心地の良い美術館として、皆様に親しんで頂ける施設となることを期待しています。

田覚 治(鹿島デザイン チーフデザイナー)

### ハイビジョン・コーナー

美術館で作成したオリジナルの番組などを、ハイビジョンの美しい映像で鑑賞することができます。

### 情報検索スペース

美術館の所蔵品について詳しく調べることができます。美術館で開催されている展覧会などの情報も得ることができます。

ハイビジョン  
Hi-Vision

エントラン  
entrance

男子W.C.  
men's

女子W.C.  
women's

乳児室  
nursery

情報検索ス  
information retrieval s

展示室  
exhibition hall

### 展示室

展示室は全体で1400平方メートルあります。大きな空間をパネルを用いて仕切ることによって、展覧会にあわせた空間をつくることができます。



エントランスロビー



展示室

The Niigata

Bandaijima Art



### エントランスロビー

美術館の入口です。チケット売り場の他に、ミュージアムショップが設置される予定です。また、乳児室やコインロッカーなども館内に設置されます。

### 収蔵庫

作品保管のためのスペースです。貴重な作品を保管するためには、温度・湿度を一定に保ち、カビや害虫から作品を守る必要があります。そのため、収蔵庫内は常に一定の温度・湿度に保たれるようになっています。



### 事務室

美術館職員の事務や展覧会準備、調査研究のためのスペースです。学芸員は、ギャラリー・トークや講座などで、みなさんにお会いすることになります。

## 美術館の 周辺環境

新潟は、開港五港の一つとして幕末より「水の都」として栄えてきました。また、かつては堀が張り巡らされ、柳の並木がそれに沿って続いていたことから「柳都」という愛称もあります。まちを南北に分ける信濃川にはたくさんの橋が架けられ、そのなかでも万代橋は、新潟のシンボルとして市民から親しまれています。万代島美術館から日本海側へ少し足をのぼし、新潟市美術館や会津ハニー記念館、そして日本海側最大級的水族館「マリニピア日本海」も訪ねてみてはいかがでしょうか。



# Schedule 展覧会スケジュール

2003 5 May	プレオープン 所蔵品展 「いろ・かたち・さまざまな表現」 (5月1日～5月5日)
6 June	
7 July	開館記念展Ⅰ 「絵画の現在」 日本の作家は何を表現したか (7月12日～8月17日)
8 August	
9 September	開館記念展Ⅱ 「コレクター・駒形十吉の眼」 (8月23日～9月28日)
10 October	
11 November	開館記念特別展 「市民の時代～フランス・ハルスとハールレムの画家たち」 (10月7日～11月30日)
12 December	
2004 1 January	「色彩と形のアラベスク」 アメリカ現代陶芸の系譜1950-1990 (12月6日～2004年1月18日)
2 February	「明日への夢をのせて」 新潟の作家100人 (1月24日～3月7日)
3 March	所蔵品展 「横山 操展」 (3月13日～4月18日)
4 April	

※展覧会名は仮称です。また、会期は変更されることがあります。

## 2003年度企画展のご案内

### 開館記念展Ⅰ

#### 絵画の現在～日本の作家は何を表現したか～

作家は、「何をどのように表現するのか」という問題に常に立ち向かってきました。現在、55歳以下でこうした問題に純粹に取り組みながら、意欲的な制作活動を行っている国内の作家を選び、最近作を12の個展という構成で紹介いたします。

### 開館記念展Ⅱ

#### コレクター・駒形十吉の眼

駒形十吉氏は、実業家として活躍しながら、美術愛好家として長年にわたって国内外の第一級の美術品を収集し続け、「長岡現代美術館」や「駒形十吉記念美術館」を設立しました。この展覧会では、駒形氏がコレクションした作品を通して、コレクターとしての「眼」を検証します。

### 開館記念特別展

#### 市民の時代～フランス・ハルスとハールレムの画家たち～

新潟県とオランダ北ホラント州の友好交流を記念し、ハールレム市にあるフランス・ハルス美術館の所蔵品から、オランダの17世紀を代表する巨匠フランス・ハルスの晩年の代表作「養老院の女性理事たち」を含む、オランダ絵画黄金期の作品60点を紹介いたします。

### 色彩と形のアラベスク～アメリカ現代陶芸の系譜 1950-1990～

戦後のアメリカの陶芸家たちは、日本の陶芸の影響を受けながら、鮮やかな色彩と自由な形態をもった独創的な作品を制作しました。この展覧会では、1950年代から90年代にかけて、69名の陶芸家によって制作された131点の作品を通して、アメリカ陶芸40年のあゆみを紹介いたします。

### 明日への夢をのせて～新潟の作家100人展～

万代島美術館では、新潟県出身、ゆかりの作家を積極的にとりあげていきます。その第1回となる本展では、現在活躍のめざましい100人の作家を選び、新潟の美術の今を紹介いたします。



フランス・ハルス  
「養老院の女性理事たち」(1664年頃)  
フランス・ハルス美術館蔵



フローリス・ファン・ダイク  
「チーズと果物のある静物」(1613年)  
フランス・ハルス美術館蔵



エイドリアン・サククス  
「かもしか蓋台付壺」(1977年)  
個人蔵



ピーター・ヴォーコス  
「スタック」(1985年)  
個人蔵

## COLLECTION

### 新潟県立万代島美術館のコレクション

1945年以降の現代の美術を中心として、日本の美術、世界の美術、新潟の美術を収集しています。

- 日本の美術：日本の現代の美術の流れを展望するにふさわしい作家の作品
- 世界の美術：現代の美術に大きな影響を与えた作家および近隣諸国を中心としたアジア地域の作家の作品
- 新潟の美術：県出身、県ゆかりの作家の作品



ロイ・リキテンスタイン「睡蓮と柳」(1992年)  
ステンレス・スチール板、スクリーン・プリント



千住博「WATERFALL」(2000年)  
紙本、着色



丸山直文「DHL」(1992年)  
アクリル、綿布

## HOW TO ACCESS

新潟県立万代島美術館へのアクセス

### 新潟空港から

- タクシー …… 約25分

### 自動車

- 新潟中央IC料金所 …… 約20分
- 紫竹山IC …… 約15分

### 新潟駅から

- バス …… 約10分
- タクシー …… 約5分
- 徒歩 …… 約20分



## B-island

新潟県立万代島美術館  
【準備ニュース 1号】

■ 発行日：2002年11月1日  
■ 編集・発行：新潟県教育庁文化行政課 新美術館開設準備室  
〒950-8570 新潟県新潟市新光町4-1  
TEL.025-285-5511(内線3919, 3920, 3921)  
FAX.025-284-9396  
URL <http://www.pref.niigata.jp/bungyo/>